

ふたばこども園

園便り 7月号

ふたばっ子

平成29年7月3日発行

文責 園長 納富博文



ひまわり

※ 園だより「ふたばっ子」はホームページでもご覧いただけます。

栽培活動・農業体験を楽しみました

梅雨も半ばとなりだんだん蒸し暑くなってきました。子どもたちは園庭で水遊びや泥団子作り等に夢中になり、暑さをもものともせず元気に遊び込んでいます。

園では毎年食育活動の一環として、一人一鉢栽培活動を行っています。今年も3歳以上児はピーマンの「ピー太郎」、未満児は「ミニトマト」を植えました。それぞれ御家庭に持ち帰りますので、御家族で成長と収穫をお楽しみください。追肥を上手にしてください。

また、NHKや新聞等で報道されましたが、年長児は今年も佐賀農業高校と女子短大との連携で、「田植えと動物ふれあい活動」を行うことができました。9月末には「稲刈り」、そして12月に「もちつき会」を一連の活動として行います。

年中児は、短大の農園でじゃがいもの収穫を体験しました。豊作だったので、各御家庭に持ち帰ることができました。残りは給食で提供されました。



子どもピーマン（ピー太郎）



田植え体験



動物ふれあい体験

7月の主な行事

早いもので一学期も残すところ7月のみとなりました。20日に一学期の終業式を行い、1号認定児は夏休みになります。

7月の主な行事は、15日（土）の「夏まつり」と20・21日の年長児の「お泊まり会」です。「夏まつり」は本年度は仮園舎での生活のため、旭学園第一体育館をお借りして行います。PTAの御協力で準備も進んでいるようです。良い天気になることをお祈りしています。

「お泊まり会」は、本年度も北山少年自然の家で実施します。お泊まり会後の子どもたちの成長が楽しみです。7月の主な行事への御理解と御協力をよろしく願います。

研究保育・研究会等が始まりました

今年の園内研究の研究主題（学年毎サブテーマ）を決定しましたのでお知らせします。

研究主題「子どもの主体性が活きる保育者のかかわりと環境作り」

研究主題をさらに具体化した各学年のサブテーマは、

年長 「一人一人の遊びを支援する保育者のかかわり」

年中 「子どもの遊びと想いを次につなげる環境作り」

年少 「安心して遊ぶことができる環境作り」

0.1.2歳児 「一人一人の育ちを捉えた遊びの環境作り」 です。

今年一年間、この研究主題で11回の研究保育及び研究会を実施します。併せて全職員が「ドキュメンテーション研修」を実践し、研究を深めていきます。6月1日にぞう組（徳島教諭）、2日にくま組（大木教諭）の研究保育及び研究会を実施しました。今後も順次実践していきます。研究保育や勉強会の成果は、子どもたちにしっかり還元していきたいと思えます。園内研究への御理解・御協力をよろしく願います。